

会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第78回 関西地区CR研究会を下記のとおり開催いたします。今回は『撮影条件と被ばく』をテーマに第一部では非接触型線量計と被ばく管理システムについて情報提供していただきます。特別講演では医療現場で今後ますます発展が期待されているAI技術についてメーカーが目指す新たな診断ワークフローを解説いただきます。また、研究会企画として幹事病院の撮影条件の調査結果について発表いたします。実際に臨床で使用している撮影条件を比較考察し、CR研究会ならではの目線で報告いたします。

皆さん御誘いあわせのうえ、ふるってご参加頂きますよう、よろしくお願い致します。

関西地区CR研究会 代表幹事 中前光弘

【共催】富士フィルムメディカル株式会社

日時： 平成31年 2月16日(土) 14:00~17:00 (13:30 開場)

会場： 富士フィルムメディカル(株)大阪支店 会議室

〒552-0007 大阪市港区弁天 1-2-1 大阪ベイトワーオフィス 7F

会費： 1,000 円

(今回は土曜日の開催で、会場も変更しています。お間違えの無いように注意してください。)

総合司会 木村美幸 (幹事)

14:00~14:40 情報提供

座長 山根康彦 (幹事)

● 『非接触型半導体式線量計の特徴』

アンフォースレイセイフ(株) セールスディベロップメントマネージャー 土井 誠 先生

● 『被ばく線量管理システム DOSE MANAGER のご紹介』

富士フィルムメディカル(株) ITソリューション事業部 五十嵐昭人 先生

14:50~15:35 特別講演

座長 樫山和幸 (副代表幹事)

● 『富士フィルムが考えるAI「REILI」が目指す、新たな診断ワークフロー』

富士フィルム(株) メディカルシステム事業部 村田千織 先生

15:50~17:00 基調講演・研究会企画

座長 廣瀬慎一郎 (幹事)

山田和弥 (幹事)

● 『DRL そして、被ばく線量と撮影条件』

奈良県立医科大学附属病院 (代表幹事) 中前光弘 先生

● 『幹事病院の撮影条件を調べてみました』

奈良県立医科大学附属病院 (幹事) 宮島祐介 先生

済生会吹田病院 (幹事) 谷 篤 先生

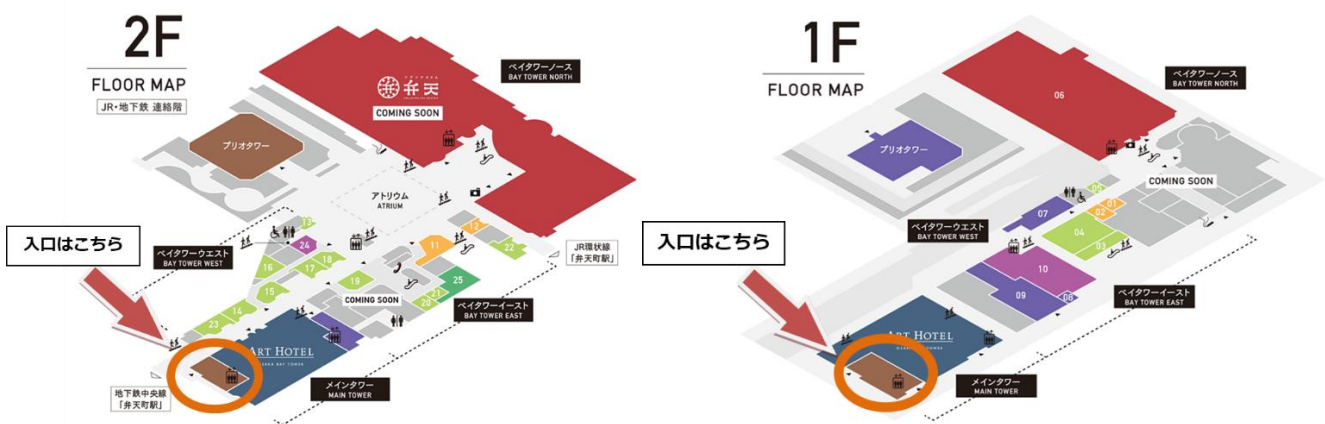
関西地区CR研究会 会場

〒552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番1号

大阪ベイタワーオフィス7F 富士フィルムメディカル(株)大阪支店 会議室

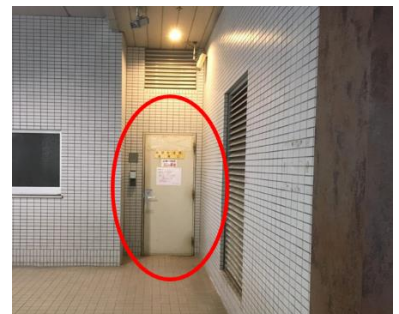
TEL : 06-7688-6962

JR 大阪環状線・弁天町駅北口、地下鉄中央線・弁天町駅西口から連絡通路で
大阪ベイタワー2階へ直結。



オフィス入口は2階、1階、地下1階にあります。14時以降は閉鎖されます。
14時以降は1階自動ドア入口向かって左横のセキュリティ付き扉からの入館になります。
当日は14時半頃まで案内係が待機しますが、入口が分かりづらくなっておりますのでご注意ください。

なお、「会場が狭いため、先着60名程度でご参加いただけない場合がございます。」



事務局：地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
医療技術部 放射線部門 榎山和幸、中智章
大阪市住吉区万代東3-1-56 TEL : 06-6692-1201 (代表)